

自己評価実施要項新旧対照表

頁	新	旧
1	<p>Ⅲ 実施時期</p> <p>平成19年6月～7月 短期大学機関別認証評価等に関する説明会，自己評価担当者等に対する研修会の実施 〃 9月末 評価の申請受付締切 〃 11月 対象短期大学の自己評価担当者等に対する研修会の実施 平成20年6月末 対象短期大学からの自己評価書の提出締切 〃 7月～ 書面調査及び訪問調査の実施 平成21年1月末 評価結果を確定する前に評価結果(案)を対象短期大学に通知 〃 2月下旬 対象短期大学からの意見の申立ての受付締切 〃 3月下旬 評価結果の確定及び公表</p>	<p>Ⅲ 実施時期</p> <p>平成18年6月～7月 短期大学機関別認証評価に関する説明会，自己評価担当者等に対する研修会の実施 〃 9月末 評価の申請受付 〃 11月 自己評価担当者等に対する研修会の実施 平成19年6月末 対象短期大学からの自己評価書の提出締切 〃 7月～ 書面調査及び訪問調査の実施 平成20年1月末 評価結果を確定する前に対象短期大学に通知 〃 2月下旬 対象短期大学からの意見の申立ての受付締切 〃 3月下旬 評価結果の確定及び公表</p>
4	<p>(3) 基本的な観点及び短期大学が独自に設定した観点の分析に当たっては，観点ごとに，「観点到係る状況」，「分析結果とその根拠理由」を記述してください。</p> <p>① 「観点到係る状況」については，目的との関連を踏まえて，自己評価書提出時までの間の自己評価が可能な現在の状況を記述してください。この際，取組や活動の内容等の客観的事実について，具体的に記述してください。 (記述が具体的ではない例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生による授業評価の結果を踏まえて，授業改善を実施している。 ・評価結果を改善に活かしている。 ・活発に活動している。 ・高く評価されている。 ・学生の満足度が高い。 <p>また，当該観点の状況が明確になるよう，現在に至るまでの経緯や過去の状況も含めるなど，根拠となる資料・データ等を示しつつ，それぞれの状況に応じて適切に記述してください。</p>	<p>(3) 基本的な観点及び短期大学が独自に設定した観点の分析に当たっては，観点ごとに，「観点到係る状況」，「分析結果とその根拠理由」を記述してください。</p> <p>① 「観点到係る状況」については，目的との関連を踏まえて，自己評価書提出時までの間の自己評価の可能な現在の状況についての分析を記述してください。この際，取組や活動の内容等について，また，当該観点の状況が明確になるよう，現在に至るまでの経緯や過去の状況も含めるなど，根拠となる資料・データ等を示しつつ，それぞれの状況に応じて適切に記述してください。</p>
13	<p>(1) 第2章の「Ⅳ 選択的評価事項A，Bの自己評価」を踏まえ，事項ごとに「観点到ごとの分析」，「優れた点及び改善を要する点」を合わせて7,000字以内で記述し，フォントは明朝体10.5ポイントを使用してください。なお，選択的評価事項Aについては，A-2の観点を研究組織(学科・専攻科等)ごとに分析する必要があることから，字数について，1研究組織(学科・専攻科等)のみの場合には上記のとおりとしますが，それより多い場合には，1研究組織(学科・専攻科等)当たり1,000字を加算することができます。</p>	<p>(1) 第2章の「Ⅳ 選択的評価事項A，Bの自己評価」を踏まえ，事項ごとに「観点到ごとの分析」，「優れた点及び改善を要する点」を合わせて7,000字以内で記述し，フォントは明朝体10.5ポイントを使用してください。</p>

自己評価実施要項新旧対照表

頁	新	旧
15	<p>6 根拠となる資料・データ等の示し方</p> <p>(1) 資料・データ等は、原則として、「観点に係る状況」の本文中に記述した状況説明等との関係が容易に確認できる位置に記載してください。(コピーの貼付や差込でも構いません。)その際、資料・データ等を記載することにより本文が読みにくくなることのないよう、本文中に記載する資料・データ等は必要最小限としてください。また、本文中に記載することで読みにくくなる場合、又は不開示情報等公表に相応しくない場合には、別添として記載してください。<u>なお、この場合においても、自己評価書に記載している内容を確認するのに必要な箇所のコピー等を別添とするなど、必要最小限としてください。</u></p> <p>(2) <u>本文中又は別添の資料・データ等には、その名称や出典(該当ページ番号を含めて)を必ず明記してください。また、ウェブサイトのURLを引用する場合には、該当箇所に直接アクセスできるURLを明記してください。</u></p>	<p>6 根拠となる資料・データ等の示し方</p> <p>(1) 資料・データ等は、原則として、「観点に係る状況」の本文中に記述した状況説明等との関係が容易に確認できる位置に記載してください。(コピーの貼付や差込でも構いません。)その際、資料・データ等を記載することにより本文が読みにくくなることのないよう、本文中に記載する資料・データ等は必要最小限としてください。また、本文中に記載することで読みにくくなる場合、又は不開示情報等公表に相応しくない場合には、別添として記載してください。本文中又は別添の資料・データ等には、その名称や出典を必ず明記してください。</p>
24	<p>3-1-③ 各学科に必要な専任教員が確保されているか。</p> <p>・学科等ごとの専任教員数(職位別) ・短期大学設置基準第22条に定められた必要な専任教員数</p>	<p>3-1-③ 各学科に必要な専任教員が確保されているか。</p> <p>・学科等ごとの専任教員数</p>
36	<p>8-1-① 短期大学において編成された教育研究組織の運営及び教育課程の実現にふさわしい施設・設備(例えば、校地、運動場、体育館、講義室、研究室、実験・実習室、演習室、情報処理学習のための施設、語学学習のための施設、図書館その他附属施設等が考えられる。)が整備され、有効に活用されているか。また、施設・設備のバリアフリー化への配慮がなされているか。</p> <p>・各施設・設備の整備状況(部屋数、面積、収容者数、開館時間、パソコン等の数)、利用状況、整備計画、利用計画 ・校地・校舎の面積 ・短期大学設置基準第30条、第31条に定められた必要な校地・校舎の面積 ・バリアフリー化に関する施設・設備の整備状況、利用状況、整備計画、利用計画</p>	<p>8-1-① 短期大学において編成された教育研究組織の運営及び教育課程の実現にふさわしい施設・設備(例えば、校地、運動場、体育館、講義室、研究室、実験・実習室、演習室、情報処理学習のための施設、語学学習のための施設、図書館その他附属施設等が考えられる。)が整備され、有効に活用されているか。また、施設・設備のバリアフリー化への配慮がなされているか。</p> <p>・各施設・設備の整備状況(部屋数、面積、収容者数、開館時間、パソコン等の数)、利用状況(講義室稼働率等)、整備計画、利用計画 ・バリアフリー化に関する施設・設備の整備状況、利用状況、整備計画、利用計画</p>
43	<p>A-2 短期大学の目的に照らして、研究活動が活発に行われており、研究の成果が上がっていること。</p> <p>基本的な観点A-2-①～③の分析を行う際には、別紙3「研究活動業績票について」(45～51頁)に従って「研究活動実績票」を作成し、根拠となる資料・データ等の一つとして用いつつ、<u>学科・専攻科等ごとの分析を記述した上で短期大学全体について自己評価を行ってください。</u></p> <p>「研究活動実績票」別紙様式①-甲、乙は主に基本的な観点A-2-①を、研究活動実績票別紙様式②は主に基本的な観点A-2-②を、「研究活動実績票」別紙様式③は主にA-2-③を分析する際に、用いてください。</p> <p>また、各対象短期大学の目的や状況に応じて、「研究活動実績票」以外の根拠となる資料・データ等が必要な場合には、それらを適宜用いつつ自己評価を行ってください。</p>	<p>A-2 短期大学の目的に照らして、研究活動が活発に行われており、研究の成果が上がっていること。</p> <p>基本的な観点A-2-①～③の分析を行う際には、別紙3「研究活動業績票について」(45～51頁)に従って「研究活動実績票」を作成し、根拠となる資料・データ等の一つとして用いつつ自己評価を行ってください。</p> <p>「研究活動実績票」別紙様式①-甲、乙は主に基本的な観点A-2-①を、研究活動実績票別紙様式②は主に基本的な観点A-2-②を、「研究活動実績票」別紙様式③は主にA-2-③を分析する際に、用いてください。</p> <p>また、各対象短期大学の目的や状況に応じて、「研究活動実績票」以外の根拠となる資料・データ等が必要な場合には、それらを適宜用いつつ自己評価を行ってください。</p>

自己評価実施要項新旧対照表

頁	新	旧
45	<p>(4) なお、A-2に係る基本的な観点A-2-①～③を自己評価する際には、<u>学科・専攻科等ごとの状況を「観点に係る状況」に記述した上で、短期大学全体としての自己評価を記述してください。このため、学科・専攻科等ごとに作成した「研究活動実績票」は、その中で根拠となる資料・データ等の一つとして用いてください。</u></p>	<p>(4) <u>ただし、当該事項に係る自己評価書については、短期大学全体として作成することになるため、学科・専攻科等ごとの「研究活動実績票」は、その中で根拠となる資料・データ等の一つとして用いてください。</u></p>